



# 県議会 とちぎ

No.153

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 TEL 028-623-3772 FAX 028-623-3755  
E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp HP アドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>  
議案など各記事の詳細については県議会 HP をご確認ください。



## 第398回通常会議(令和5年11月30日~12月21日)

### 一般会計補正予算、栃木県障害者差別解消推進条例の一部改正など36議案を可決

#### 可決された主な議案と概要

●は知事提出議案です。●は議員提出議案です。

#### ●令和5年度栃木県一般会計補正予算(第4号)

国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に呼応し、当面する緊要な課題に適切に対処するために補正予算を編成しました。主な内容は以下のとおりです。

- ◎エネルギー価格等の物価高騰による家計の負担軽減、農業者や交通事業者、医療機関・社会福祉施設等に対する支援
- ◎農林業の競争力強化や防災・減災、国土強靱化等の公共事業の速やかな執行

#### ●令和5年度栃木県施設管理事業会計補正予算(第1号)

電気料金等の高騰に伴い、指定管理者への支援に要する経費について補正することとしました。

#### ●栃木県行政機関設置条例の一部改正について

小規模事務所の集約等のため、労政事務所及び農業環境指導センターを廃止すること等とし、条例の一部を改正することとしました。

#### ●栃木県障害者差別解消推進条例の一部改正について

事業者に対し、社会的障壁の除去のための合理的配慮の提供を義務付けること等のため、条例の一部を改正することとしました。

#### 可決された意見書と概要

#### ●「2024年問題」に関する対策を求める意見書

物流業界においては、2024年問題への対応により更なるドライバー、輸送能力不足が懸念されていることから、倒産等の負の連鎖につながらないよう各種取組を強化すること等を国に要望することとしました。

#### ●我が国の経済安全保障に関わる台湾のCPTPP(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)への加入実現に向けた積極的な働きかけを求める意見書

台湾のCPTPPへの加入が実現されるよう他の加盟国に積極的に働きかけを行っていくことを国に要望することとしました。

#### ●技能実習制度及び特定技能制度の見直しに関する意見書

転籍に伴い地方から賃金の高い都市部に人材が流出してしまうことが懸念されるため、新制度の設計に当たっては、地方の中小企業・小規模企業者等が確実に外国人材を確保できるよう特段の配慮を行うこと等を国に要望することとしました。



**このほか** 診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の適切な増額改定を求める意見書、地上デジタル放送難視聴地域対策と5Gの整備を求める意見書、悪質・危険運転の撲滅を求める意見書

#### 請願・陳情

所管常任委員会の審査を経て、陳情1件が不採択となりました。



## とちまるくんのなるほど! 県議会

県政ミーティングの様子を紹介するまる!!

今回は、とちぎの未来を担う子どもたちに県議会に対する関心を高め、理解を深めてもらうための主権者教育の一環となるよう栃木県議会として初めて実施した「～とちぎの未来を考える～ 栃木県議会 県政ミーティング」の様子を紹介します。

#### 大田原高校 (令和5年10月25日開催)

- ◎生徒:1年生及び2年生(約400名)
- ◎議員:佐藤良議長、関谷暢之副議長、池田忠議員、渡邊典喜議員、山口恒夫議員、大谷弥生議員

#### [1:県議会の役割・取組の紹介]



佐藤議長から、県議会の役割と県(執行機関)との関係、議員提案による政策条例などについて説明

#### [2:質疑応答]



生徒:県議会が開かれていない時には、どのような仕事をしていますか。  
議員:地域で開かれる座談会などに参加し、相談に応じています。

生徒:少子高齢化が進んでいますが、県はどのように取り組んでいますか。  
議員:県では、「とちぎ少子化対策緊急プロジェクト」を取りまとめ、9月議会で補正予算を議決しました。

#### [3:テーマ別意見交換]

- ①とちぎの未来のためにできること
- ②議会や政治への関心を高めるためには



テーマ①生徒:国公立大学をつくることで、優秀な人材を確保できると思います。  
議員:農業大学校なども地域に人が残るきっかけになっています。

テーマ②生徒:政治に積極的に関われない状況の改善が若者の政治参加につながると思います。  
議員:高校生の皆さんの声を聞くという形での政治参加も進めていきます。

#### [4:全体のまとめ]



佐藤議長:皆さんからの提案については、しっかりと受け止めて議会活動に生かしていきたいと考えています。

今日を契機に少しでも政治に関心を持ってもらえるとありがたいと思います。

#### 壬生中学校 (令和5年11月9日開催)

- ◎生徒:2年生(約200名)
- ◎議員:佐藤良議長、関谷暢之副議長、白石資隆議員、松井正一議員、西村しんじ議員、あべひろみ議員

#### [1:県議会の役割・取組の紹介]



佐藤議長から、県議会の役割と県(執行機関)との関係、県民の願いが叶うまでの流れなどについて説明

#### [2:質疑応答]



生徒:仕事をしていて、楽しいと感じるのはどんな時ですか。  
議員:県民の皆様の期待に応えられた時や思いを実現できた時は嬉しく感じます。

生徒:県民の願いがたくさん届いたときは、どのような内容を優先して条例をつくるのですか。  
議員:話し合っって皆さんの願いが叶うように考え方を整理しています。

#### [3:テーマ別意見交換]

- ①とちぎの未来のためにできること
- ②議会や政治への関心を高めるためには



テーマ①生徒:SDGsの「ジェンダー平等を実現しよう」を積極的に進めることが必要だと思います。  
議員:G7大臣会合の日光声明を契機とし、更に取組を進めていきます。

テーマ②生徒:議会や政治のマスコットキャラクターを作って意見を集めるのよいと思います。  
議員:広く意見を集めるためには、よいアイデアだと思います。

#### [4:全体のまとめ]



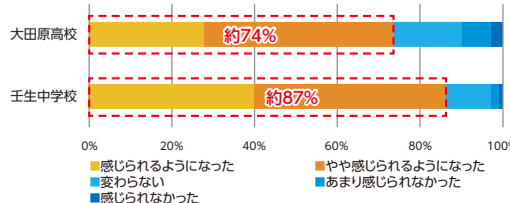
関谷副議長:政治とは決して遠いものではなく、皆さんの生活にとっても密着しているものです。

近い将来投票権を得る皆さんには、ぜひ政治に積極的に参加していただきたいと思っています。

#### 生徒の皆さんへのアンケートの結果から

- 〈大田原高校〉
  - ・県議会がどのような人により進められているのかよく知ることができました。
  - ・これから担う身として積極的に政治について調べてみようと思いました。
- 〈壬生中学校〉
  - ・初めて近くで見て、議会と生活との身近さを感じることができました。
  - ・社会貢献や地域探究学習などへの関心や熱意がさらなるものへととなりました。

ミーティングを通じて、参加者の約8割が県議会及び県議会議員について、身近に感じられるようになったという結果となりました!



映像(県議会ハイライト:令和5年12月3日放送)はこちら↓

開催結果報告書はこちら↓



# 《第398回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容》

## 代表質問 (12/4)

ひがの よしゆき  
**日向野 義幸**  
(とちぎ自民党)  
[栃木市]



### ○福田知事が描く本県の未来都市像

**問** 政治家は今を良くすることも重要ですが、私たちの大切な子どもたちの未来を創り、その未来に責任を持つことが最も大切なことだと考えています。

知事が思い描く本県の未来都市像は今後50年、100年の発展に向けた「道しるべ」になると考えますが、どのように描いているのか伺います。

**答** 【知事】知事に就任以来、未来志向でのとちぎづくりに対する思いは揺らぐことはなく、人が輝き活躍する社会を目指してきたところであり、持続可能で活力ある栃木を目指し、県政の舵取りを進めていく必要があると考えています。

県民、市町、企業など多様な主体とより一層連携・協働しながら、目指す将来像の実現に向けて取り組んで参ります。

## ○産業成長戦略

**問** 現在、県は、自動車、航空宇宙、医療福祉機器産業をものづくりの戦略3産業と位置付け、支援を行っています。

本県産業の発展のため、国の「特定重要物資※1」であり、国の経済対策にも盛り込まれる半導体や蓄電池を位置付け、積極的な産業成長戦略を進める必要があると考えますが、所見を伺います。

**答** 【知事】優れた技術を有する企業が集積している強みを生かすとともに、成長が見込まれる新たな産業の振興を図ることが重要です。

引き続き、世界の動きや国の動向の把握等に努め、現在取りまとめている特定重要物資に関わる県内企業の実態調査結果も踏まえ、新たな成長産業の集積等に向け、取組方針を検討します。

### このほか

災害に強いとちぎの実現に向けて、本県の教育のあるべき姿など

## 一般質問 (12/4)

なかや だい  
**中屋 大**  
(民主市民)  
[小山市・野木町]



### ○オーストラリアに向けたインバウンド誘客の推進

**問** 海外行政調査で訪れたオーストラリアは、一人当たり旅行支出額が高く、平均滞在期間が長い上、姉妹都市等提携による日本との交流も盛んです。

そのため、オーストラリア人への誘客は非常に有効であり、オーストラリアに向けたプロモーションなどを積極的に展開し、インバウンド誘客を推進すべきと考えますが、所見を伺います。

**答** 【産業労働観光部長】今年度新たに日光の社寺等を紹介する映像を制作し、世界最大のドキュメンタリー番組での放送及び動画配信を行います。

今後とも、関係事業者と連携して積極的なプロモーションを展開し、県内観光産業の活性化を図ります。

### ○多文化共生に対応した環境の整備～日本語指導を要する外国人児童生徒への日本語教育の充実～

**問** オーストラリアで視察した学校では、短期集中で、かつ、段階的に英語を習得できるカリキュラムと生徒の心のケアを支援する体制も充実しており、本県も同様の体制が必要と考えます。

県教育委員会は、どのように日本語指導を要する外国人児童生徒への日本語教育の充実を図っていくのか伺います。

**答** 【教育長】今年度から4校の県立高校に日本語指導の支援員を配置したほか、小・中学校における個別の指導計画に基づく支援のノウハウを高校の指導に生かすなど指導・支援を行っています。

今後とも、外国人児童生徒が、安心して学習に取り組むことができるよう、支援体制の充実にも努めます。

### このほか

県庁職員の働き方改革の推進、学校における働き方改革の推進など

## 一般質問 (12/4)

のざわ かずいち  
**野澤 和一**  
(公明党)  
[宇都宮市・上三川町]



### ○公立夜間中学の設置に向けて

**問** 国内の義務教育未就学者は90万人近くに上り、教育の機会の確保が求められています。

私は、教育により社会参画のチャンスの扉を誰にでも開く必要があり、活躍人口創出の切り札として、公立夜間中学の設置が必要不可欠と訴え続けてきましたが、設置に向け、どのような方針で取り組んでいくのか伺います。

**答** 【教育長】学びを求める方の社会的自立に向けて、様々な学びの場の充実に向けて取り組んでいくための中核的な取組として県立夜間中学の設置は有力な選択肢と考えています。

今後、市町教育委員会等の関係機関と協議を進め、早期に方向性を出していきます。

### ○活躍人口の創出に向けた県政経営

**問** 本県の活力を維持していくためには、活躍したい場で思う存分活躍することができる人、「活躍人口」の創出に向け、県民がその能力と可能性を最大限に発揮して活躍できる環境の整備を進めることが重要です。

そのためには、県の総合計画に「活躍人口創出のとちぎ」を位置付け、施策を展開する必要があると考えますが、どのように県政経営を行う考えか伺います。

**答** 【知事】とちぎ未来創造プラン※2の本県の将来像の実現に向けた基本姿勢の一つに「全ての県民が担い手として協働し活躍する」を掲げ、人材成長戦略等に基づくプロジェクトを推進しています。

今後とも、県民が持てる力を十分に発揮し、地域の担い手として活躍できるとちぎづくりを積極的に進めていきます。

### このほか

脳脊髄液減少症への理解促進と医療提供体制の整備、栃木県林業大学校の在り方など

## 一般質問 (12/6)

ほし まさと  
**星 雅人**  
(とちぎ自民党)  
[大田原市]



### ○とちぎ少子化対策緊急プロジェクトの更なる展開

**問** 人口減少問題の克服のためには、本県特有の課題を捉え効果的な政策を打ち出し、より分かりやすく県内外に発信し、オール栃木体制で結婚・子育て支援を進めていくことが重要と考えます。

とちぎ少子化対策緊急プロジェクトの更なる展開について、所見を伺います。

**答** 【知事】来年度当初予算での第2弾事業として、若者の結婚の希望をかなえる環境づくりや、子育て世帯の負担軽減策等の充実・強化、中小企業における男性の育児休業取得促進のほか、子どもの権利擁護に係る施策等を推進します。

これらの取組は、子育てや移住関連のポータルサイト等を活用し、県や市町の先進的な取組と併せて発信します。

### ○こどもまんなか社会の実現～教員の働き方改革～

**問** 令和6年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の応募者は、過去10年で最少であり、教員が時間と心の余裕を持って働ける環境づくりが重要です。

働き方改革のモデル校や教員業務負担軽減DX事業の指定校における取組とその成果を踏まえた、教員の働き方改革の展望について、伺います。

**答** 【教育長】モデル校では業務分担の見直しや行事の簡素化などの業務改善を進めており、指定校では採点支援システムやグループウェア※3等のICTを活用し、採点時間の大幅な削減や職員会議等の効率化などの効果が見られました。

これらの成果は、全公立学校対象の報告会を開催するなど周知徹底を図り、業務改善の取組を加速していきます。

### このほか

県民の医療・福祉の緊急相談体制の充実と周知の強化、先端技術を活用した農業の推進など

## 一般質問 (12/6)

あおき かつあき  
**青木 克明**  
(えがお)  
[矢板市]



### ○地方経済

**問** 高付加価値の地域産業の集積促進のために、県内取引の拡大など製造業等のサプライチェーン※4の強化が重要と考えますが、所見を伺います。

また、県内中小企業等に対する支援制度を設けて、本県に適したリスクリンク※5の実現に向けて取り組むべきと考えますが、所見を伺います。

**答** 【知事】県内企業の連携強化に向けて、産学官金の連携のもと、ネットワーク形成等を支援しており、引き続き、サプライチェーンの強化に取り組んで参ります。

また、企業における産業人材の育成を支援しており、今後は、とちぎ公労使共同会議等において議論を深めながら、企業におけるリスクリンク導入の支援などを検討して参ります。

### ○少子化対策

**問** これまでの少子化、子育て対策等の徹底した検証を行い、それに基づいた最も望ましい対策を打ち出すことや、少子化・子育てのための基金を創設して財政の充実を図ることが重要と考えます。

そこで、出生率を増加させる取組を具体的に実施すべきと考えますが、所見を伺います。

**答** 【知事】PDCAサイクルにより施策の検証・改善を図り、とちぎ少子化対策緊急プロジェクトの第2弾実施事業において、理想のとも働き・とも育ての実現に向けた環境整備や子育て世帯の負担軽減など、一層の充実・強化に取り組む考えです。

また、国庫補助金の積極的な導入や既存基金の効果的な活用等により、必要な財源を確保する考えです。

### このほか

物価高騰対策～生活困窮者への支援～、成長する農業を目指してなど

## 一般質問 (12/6)

よこた まこと  
**横田 誠**  
(とちぎ自民党)  
[佐野市]



### ○部活動の地域移行

**問** 学校が担っていた部活動の指導を地域に移行する上で、県全体で一定の基準を設けなければ、地域間の格差が生じるのではないかと懸念しています。

子どもたちへの指導の継続を望む教員が地域移行後も活動しやすい環境づくりが重要と考えますが、部活動の地域移行にどう取り組むのか伺います。

**答** 【教育長】指導者確保のため、人材バンクの設置や指導者資格取得の助成を開始したほか、地域移行後も地域クラブ活動での指導を希望する教員が、円滑に許可を得られるよう、兼職兼業制度の運用方法についても検討しています。

また、部活動と地域クラブ活動の在り方に関する方針を年度内に策定し、学校や保護者に周知していきます。

### ○都市計画道路3・5・303号 唐沢公園線の整備

**問** 本路線を整備することで利用者の安全確保だけでなく、周辺道路における交通の分散や、近隣の田沼工業団地や国指定史跡唐沢山城跡、佐野市国際クリケット場などへのアクセス性の向上が図られ、文化振興・経済効果は更に大きくなると期待しておりますが、整備の見通しを伺います。

**答** 【県土整備部長】佐野市と県で構成する道路網研究会で本地域の道路網の在り方や県・市の役割分担などについて検討してきたほか、本路線の整備に伴う周辺道路の交通流動の変化等について検証を進めてきました。

今年度は、道路構造や東武佐野線との交差構造等の技術的課題などについて検討を進めているところです。

### このほか

安心して子どもを産み育てることができるとちぎの実現、地域の未来を担う人材を育む探究学習など

※1 特定重要物資：経済安全保障推進法で、国民の生存に必要不可欠又は広く国民生活・経済活動が依拠している物資で、安定供給確保が特に必要な物資を指定  
 ※2 とちぎ未来創造プラン：令和3(2021)年度を初年度とする令和7(2025)年度までの5年間に県が取り組む施策の進め方等を示す県政の基本指針  
 ※3 グループウェア：内部ネットワークを活用して情報共有やコミュニケーションの効率化を図り、グループによる協調作業を支援するソフトウェアの総称  
 ※4 サプライチェーン：商品が消費者に届くまでの原料調達から製造、在庫管理、配送、販売までの一連の流れのこと  
 ※5 リスクリンク：新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大規模な変化に適應するために、必要なスキルを獲得する/させること。

# 《質疑・質問日 令和5年12月4日、6日、7日》

※スマートフォン等で二次元コードを読み取ると、質問の映像をご覧いただけます。

## 一般質問 (12/6)

ひらいけ ひろし  
**平池 紘士**  
(とちぎ自民党)  
[栃木市]




### ○eスポーツ<sup>※6</sup>の推進

**問** eスポーツは、国内外の動きが加速しており、地域や経済などの活性化が期待されることから、施策推進に当たっては、スピード感と幅広い視野を持ち、戦略的に展開する必要があります。

これまでの取組や課題を踏まえ、今後どう取り組むのか伺います。

**答**【生活文化スポーツ部長】「とちぎeスポーツ地域活性化実行委員会」を設立し、理解促進等に取り組んでおり、12月には、競技大会や体験会等を通じて、eスポーツの魅力と多彩な可能性を県民等が実感できるイベントを開催します。

関係団体等と連携し、eスポーツの更なる普及に努め、交流人口拡大による地域活性化を図り、ダイバーシティや共生社会の実現につなげていきます。

### ○空き家対策

**問** 空き家対策の更なる充実に向け、県の役割を十分に果たすとともに、空家等対策の推進に関する特別措置法の改正を契機に、市町や関係機関等との連携を強化し、空き家の所有者等に対する情報提供や適正管理・利活用に向けた啓発を行う必要がありますが、今後どう取り組むのか伺います。

**答**【県土整備部長】国では、民間団体を空家等管理活用支援法人に指定する制度や、市町村が管理不全空家等<sup>※7</sup>を認定、指導・勧告できる制度を創設するなどの法改正を行いました。

県は、市町がこれらの制度を最大限活用し、効果的な取組が行えるよう、認定に関する手引きの作成や、市町や関係団体からなる協議会での検討など積極的に取り組んでいきます。

#### このほか

医療的ケア児とその家族に関わる人材の育成・確保、インフラDXの推進など

## 一般質問 (12/7)

たかやま かずのり  
**高山 和典**  
(とちぎ自民党)  
[下野市]




### ○世界から選ばれる“とちぎ”を目指して～先々を見据えた国際戦略の展開～

**問** 知事はベトナムとシンガポールでトップセールスを行い、議員はオーストラリアで海外行政調査を実施しました。トップセールスで現地に赴く意義と、訪問の成果をどう捉えているか、また、オーストラリアを輸出対象国としてどのように考えるか、伺います。

**答**【知事】両国との相互理解が深化し、本県の認知度が向上しました。

県産品の販路開拓やインバウンド誘客促進に手応えをつかみ、ベトナムでは覚書の締結等、経済交流を進めました。

オーストラリアについては、魅力ある市場と捉え加工食品の市場調査を実施中であり、今後とも世界から選ばれる“とちぎ”に向けて全力で取り組みます。

### ○国体のレガシー継承

**問** 昨年開催されたいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会は、スポーツの素晴らしさを広く伝えるとともに、環境にも配慮した大会を実現したことで高く評価されました。

県として国体の有形・無形のレガシーをどのように継承し、「新しいとちぎ」づくりにつなげていくのか、伺います。

**答**【知事】両大会のレガシーを継承し、スポーツを活用した地域活性化に向け、スポーツツーリズムを推進しています。

大規模大会や合宿等の誘致、地域に根ざしたスポーツの定着支援、スポーツボランティアの活躍の場の提供に加え、武道など新たなテーマ別スポーツツーリズムについて検討を進めています。

今後とも、活力ある「新しいとちぎ」づくりに全力で取り組んでいきます。

#### このほか

2024年問題への県としての対応～労働者の働き方改革の推進に向けた取組～、「文化と知」の創造拠点の整備など

## 一般質問 (12/7)

おおたに やよい  
**大谷 弥生**  
(織姫の会)  
[足利市]




### ○はたらくデイサービス

**問** 本県でも、若年性認知症、要支援や要介護になっても、社会参加や就労的活動ができる、いわゆる「はたらくデイサービス」が必要だと考えています。

介護保険サービス利用者の社会参加や就労的活動である「はたらく」ことについて、どのように捉え、取り組んでいくのか伺います。

**答**【保健福祉部長】高齢者や認知症の方が、生きがいをもって自立した日常生活を営むことができるよう、就労的な活動も含めた社会活動に取り組むことは、介護予防の観点からも重要であると認識しています。

介護サービス事業者等に対しても、就労的な活動も含めた社会活動等の取組事例の周知に努めていきます。

### ○子どもの読書活動の推進～県立高校における学校図書館の充実～

**問** 学校図書館は、学校教育において欠くことができない設備であり、本を読む読書センターとしてだけでなく、授業で使用し、その内容や理解を深める学習センター、情報の収集や活用能力を育む情報センターの役割があり、生徒の主体的かつ深い学びにつながります。

学校図書館における各センター機能を更に充実させていく必要があると考えますが、所見を伺います。

**答**【教育長】県立高校の全ての教員が参加する研修会を通じて各教科における効果的な利活用を促すとともに、高い専門性と豊富な蔵書を有する県立図書館との連携を更に進めていきます。

今後とも、学校全体で組織的に取り組み、学校図書館の充実に努めます。

#### このほか

子どもの読書活動の推進～不読率の改善～、障害者の歯科診療など

## 一般質問 (12/7)

おかべ みつこ  
**岡部 光子**  
(とちぎ自民党)  
[佐野市]




### ○G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合を契機とした県の取組

**問** 大臣会合を契機に高まった男女共同参画・女性活躍推進の機運を一層盛り上げるとともに、男女が共に働きやすい環境づくりを進め、選ばれる栃木県となることを重要と考えます。

男女が共に輝くとちぎづくりに、どのように取り組んでいくのか伺います。

**答**【知事】G7記念シンポジウムで採択した「輝くとちぎ宣言<sup>※8</sup>」に込められた思いを受け止め、働く場における自分らしいキャリアの実現や、地域における女性活躍の推進、誰もが生きやすい社会の実現に向けた各種施策に全力で取り組み、誰もが個性や能力を発揮しながら活躍できるとちぎの実現を目指していきます。

### ○農業を支える新たな担い手の確保・育成

**問** 農業を支える担い手の確保・育成は喫緊の課題です。

課題解決のためには、本県の農業の魅力積極的に発信し、意欲ある若者を更に県内外から呼び込み、定着させていくことが必要と考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。

**答**【農政部長】就農支援サイト「トチノ」により若手農業者の活躍する姿を動画配信するとともに、県内外での就農相談会等を開催していきます。

また、とちぎ農業経営・就農支援センターにおいて、栽培品目や就農地域等の相談にワンストップで対応するとともに、サポートチームを編成し、農地の仲介や技術指導を実施するなど、伴走型の支援を行っていきます。

#### このほか

スポーツを活用した地域活性化の推進、都市計画道路3・4・1号前橋水戸線の整備など

## 一般質問 (12/7)

いたばし かずよし  
**板橋 一好**  
(とちぎ自民党)  
[小山市・野木町]




### ○国道4号及び新4号国道の整備促進

**問** 国道4号及び新4号国道は、本県を縦断し首都圏と東北地方とをつなぎ、東日本の社会経済の発展を支える大動脈です。

県は、その整備促進に向け、知事をまとめ役として、県南、県北の枠を越えて、オール栃木体制で取り組むべきと考えますが、考えを伺います。

**答**【知事】国道4号の整備や、新4号国道の機能強化は、本県の輸送機能の強化や観光振興に大きく寄与するものと考えております。

このため、県では、「栃木県国道4号・新4号国道整備促進協議会」を新たに組織し、国への働きかけを強化したところであり、沿線市町と一体となって取り組めます。

### ○河川災害対策

**問** 河川整備は、洪水が発生する頻度などの基準を踏まえ実施されていますが、従来の想定では対応しきれない規模の災害も発生しています。

そのため、県は、基準の見直しを国に働きかけるとともに、国の基準見直しを想定した改修計画の策定などの対応が必要だと思いますが、考えを伺います。

**答**【県土整備部長】気候変動の影響により、洪水流量や洪水発生頻度の増加が予測されていることを踏まえ、国では、各水系の河川整備基本方針<sup>※9</sup>を順次見直すこととしています。

県としては、早期の見直しを国へ働きかけるとともに、その内容に応じた県管理河川の計画の見直しについても検討することで、河川災害対策を進めます。

#### このほか

エコグリーンとちぎ完成後の産業廃棄物処分の在り方、県庁周辺整備など

### 県議会ハイライトの放送



とちぎテレビにて、今回の質疑・質問の様子など、県議会活動の内容をダイジェストで紹介する議会広報番組「県議会ハイライト」を放送しています。

**【次回の放送予定】**  
**2月4日(日)**  
**17時30分～18時00分**

※議会中継サイトでは、テレビ放送後、2週間程度でご覧いただけます。

### 県議会公式YouTubeチャンネル

県議会【公式】YouTubeチャンネル@tochigikengikaiでは、

過去に放送された「県議会ハイライト」をはじめ、栃木県議会に関する動画を視聴することができます。

ぜひ、ご覧ください。チャンネル登録も、よろしくお願いします。



※6 eスポーツ：エレクトロニック・スポーツの略で、コンピューターゲーム等を使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称  
 ※7 管理不全空家等：放置すれば周囲に著しい悪影響を及ぼすおそれのある空家等

※8 輝くとちぎ宣言：県主催のG7記念シンポジウムにおいて県民と共に採択した男女共同参画・女性活躍推進に向けた今後の行動目標  
 ※9 河川整備基本方針：河川法に基づき、河川管理者が、国土のバランスを踏まえ、将来の長期的な河川整備の方向性や基本となるべき事項を定めた方針

### 常任委員会の主な活動 6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に関する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第398回通常会議において所管常任委員会に付託された議案(令和5年度一般会計補正予算(第4号)関係議案等)などについて、12月11日に審査及び採決が行われました。

#### ●県政経営委員会

付託議案: 職員の給与に関する条例等の一部改正について等 8件

報告事項: 栃木県デジタル社会形成推進条例(仮称)の素案について等 7件

委員からは、デジタルガバメントの推進や「文化と知」の創造拠点整備の進め方等について意見が出されるなどしました。



#### ●生活保健福祉委員会

付託議案: 栃木県障害者差別解消推進条例の一部改正について等 3件

報告事項: 困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する基本的な計画の策定について

委員からは、消費者被害防止の手法や医療機関等への支援の在り方等について意見が出されるなどしました。



#### ●農林環境委員会

付託議案: 市町村が負担する金額の変更について等 2件

報告事項: 栃木県牛乳消費拡大月間の取組について等 3件

特定テーマ: 令和3年度特定テーマ提言事項の取組状況調査概要(案)の検討

委員からは、木材加工流通施設の整備や農業の担い手確保等について意見が出されるなどしました。



#### ●経済企業委員会

付託議案: 令和5年度栃木県施設管理事業会計補正予算(第1号)等 2件

報告事項: 新とちぎ産業成長戦略等の目標値の見直しについて等 4件

委員からは、LPガス料金の高騰分に対する助成や工業用水の戦略的な活用等について意見が出されるなどしました。



#### ●県土整備委員会

付託議案: 栃木県道路占用料徴収条例の一部改正について等 4件

報告事項: 栃木県地域公共交通計画の策定について

委員からは、地域公共交通計画策定後の取組や計画に定める目標等について意見が出されるなどしました。



#### ●文教警察委員会

付託議案: 栃木県公立学校職員給与条例の一部改正について等 4件

報告事項: 令和6年度栃木県警察基本姿勢及び重点目標について等 3件

委員からは、地域における治安確保のための取組や特別支援教育の充実に向けた取組等について意見が出されるなどしました。



### 県議会トピックス

●海外行政調査(オーストラリア:10月24日~10月29日) 令和5(2023)年度栃木県議会議員海外行政調査団(琴寄昌男議員、早川桂子議員、高山和典議員、中屋大議員、塩田ひとし議員)がオーストラリア(シドニー)において、多文化共生に対応した環境整備、県産品の輸出拡大、カーボンニュートラル実現に向けた環境施策及び国体レガシーの継承等に関する調査を行いました。また、第398回通常会議開議日(11月30日)には、本会議において琴寄団長が調査結果の報告を行いました。



▲多文化共生に関する調査の様子 ▲報告を行う琴寄団長



調査報告書はこちら↓

●栃木県誕生150年記念若者応援ライブイベント(宇都宮市:12月9日開催) 栃木県誕生150年記念行事の一環として、次代を担う若者を応援するための本県ゆかりのミュージシャンなどによるライブステージ等が日環アリーナ栃木において開催され、佐藤良議長が参加者等に応援メッセージを送りました。



▲イベントの様子(左2人目から福田知事、佐藤議長)

#### 表彰

第398回通常会議開議日(11月30日)に、地方自治功労等の功績により、板橋一好議員(在職50年以上)、松井正一議員(在職15年以上)が、栃木県議会、全国都道府県議会議長会、栃木県知事から表彰されました。



▲佐藤議長(右)から表彰を受ける板橋議員(左)



▲福田知事(右)から表彰を受ける松井議員(左)

## U-18 高校生世代のギモン? もっとなるほど! 県議会

あなたがもっと知りたい県議会や議員のことについて、議長や副議長がお答えするコーナーです。

Q 議員の提案によって制定されている条例について教えてください。(17歳・足利市)  
A 県民の生活に直接関係する政策課題に迅速に対応していくため、平成16年度から現在までに9本の政策条例を制定しています。直近では、社会的課題となっているヤングケアラーなどのケアラーを社会全体で支えていくために、令和5年3月に「栃木県ケアラー支援条例」を制定(令和5年4月から施行)し、条例に基づき、実態調査の実施や支援推進計画の策定など、ケアラー支援を推進する各種取組が展開されています。



佐藤良議長

Q 小中学校の1学級当たりの児童生徒数は35人なのに、県立高等学校は42人なのはなぜですか?(16歳・宇都宮市)  
A 国の法律等では、公立の高等学校と中学校の学級編制は1学級当たり40人、公立小学校は35人\*が標準となっており、これに基づき、本県の県立高等学校は40人程度としています。なお、本県の公立小中学校については、よりきめ細かな指導の実現に向けて、知事が方針を示し、県議会での審議・議決を経て、令和2年度から全国に先駆けて全ての学校において35人以下学級となっています。\*令和3~7年度で段階的に引下げ



関谷暢之副議長

#### 高校生世代\*からの質問を募集します!

\*栃木県にお住まい又は通学している概ね16歳~18歳までの方

応募方法など詳細は下の二次元コードからご確認ください。たくさんの質問をお待ちしております!



### 請願・陳情・要望 ~あなたの声を県政に~

県の仕事についてご意見・ご要望のある方は、県議会に対して、**請願・陳情・要望**を行うことができます。県議会では、皆様から提出された請願や陳情等を県政運営に反映するよう努めています。

請願	県議会議員の紹介が必要となりますが、全て議会で審議されます。
陳情	県議会議員の紹介は必要ありませんが、いずれかの会派から希望があったもののみ議会で審議されます。
要望	議会での審議は行われませんが、各会派や関係議員に周知されます。

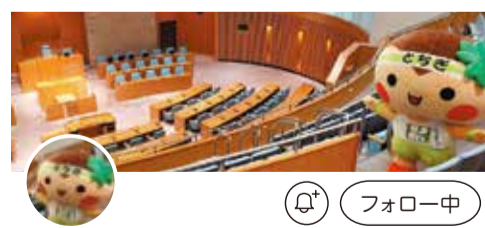


提出方法等はこちら→



### 県議会からのお知らせ

【栃木県議会<公式> X (旧Twitter)】



県議会の日程や質疑・質問の中継案内など、県議会の情報をタイムリーにお届けしています!



#### 《次回通常会議の日程》

- 2月 19日(月) 本会議(開議、議案上程)
- 21日(水)、26日(月)、27日(火) 本会議(質疑・質問)
- 29日(木) 常任委員会
- 3月 5日(火) 予算特別委員会(総括質疑)
- 6日(水) 常任委員会
- 8日(金) 本会議(採決)
- 12日(火) 常任委員会
- 14日(木) 予算特別委員会(総括質疑)
- 15日(金) 常任委員会
- 19日(火) 本会議(採決・散会)

\*午前10時開始予定。日程は変更となる場合があります。

#### 《傍聴》

本会議や委員会はどなたでも傍聴できます。\*本会議は先着順。委員会は開会15分前までに受付を行い、定員を超えた場合は抽選となります。